

石高神社

第十六号

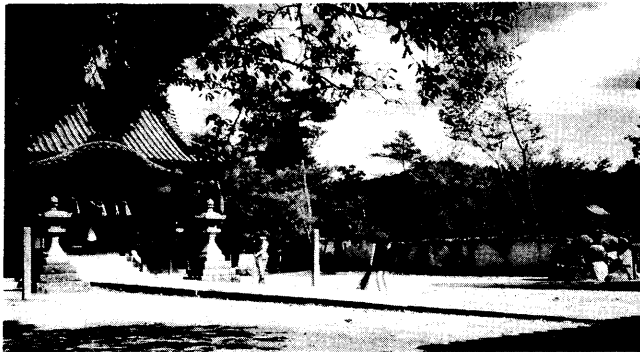
発行日 平成十年十二月十五日
発行者 石高神社宮司 高原章兆
発行所 岡山市円山八五三

土塀等修理について

昨年秋より土塀修理・便所の設置などのため、の御奇進をお願いしておりましたところ、目標の金額におおむね達することができました。厚くお礼申し上げます。

二〇〇万円という限られた費用で修理することにしていきますので、安く仕上げられるために古い瓦を集めていました。その瓦も大体集まったようですので、この冬には工事に取りかかることになっていきます。

便所につきましては、すでに昨年石段を上った表参道東側に仮設便所を設置しています。ご利用ください。



また、表参道東側市道沿いの神社名表示板を補修しました。年間行事等も書いてありますのでご覧ください。

氏子内の神社・神祠②

王子宮

大正十一年発行の上道郡史には、「王子山神社、御祭神は仁徳天皇、大字円山字本段に鎮座、勧請年月不詳の神祠にして明治十年十二月三日存置願許可」と載っています。嶽町内の山の上であり、別名「牛神様」とも呼ばれていました。昔は沖の新田の方からも牛を連れてお参りに来ていたそうです。また、祭りの日には店も出たということです。本殿の建物はかなり老朽化していますが、瓦葺きで、亀の形をした石組の上に鎮座しています。現在は嶽町内の守り神となっております。嶽の町内で春と秋の祭りを行っています。

大安・仏滅などの六曜について

六曜はその日の吉凶を占ったもので、中国から室町時代に伝わってきたと推定されています。江戸時代の民間暦にもほとんど載っておらず、明治の始めに大部分の暦注が迷信禁止の処置にあつて衰えたにも拘わらず、終戦後爆発的に流行しています。先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の順で、六日で一巡するようになっており、月の終わりで打ち切りになります。また、月の始めである一日の六曜は一月が先勝で、二月は友引というように六ヶ月で一巡するようになっていきます。ただし、旧暦の暦に当てはめていきますので、新暦では暦を見ないとわかりません。

次に吉凶をまとめておきますので、気にされる方は参考してください。

先勝	午前に吉、午後凶、早いことがよい。
友引	朝晩は吉、昼は凶、良くも悪くもない日
先負	午前凶、午後吉
仏滅	万事凶になる大悪日
大安	すべてのことに大吉日
赤口	万事大凶、ただし正午は吉

境内の生物

④

セミ

夏には、朝早くから鳴くクマゼミ・ニイニゼミをはじめアブラゼミ・ツクツクボウシがたくさんいます。最近ではニイニゼミが減ってクマゼミが増えてきました。特に境内の桜の木には、多くのクマゼミがとまっております。セミ取りの一般ポイントとなっています。また、セミの殻・幼虫が出てきた穴はもちろんのこと、産卵あともヒノキの皮に見ることが出来ます。

生き物は大切にしなければなりません。たくさんいるからといってむやみに捕るといなくなってしまう。カブトムシがいい例です。幼虫を腐葉土ごとトラップで盗んで行った者がおり、それから、いなくなっ てしまいました。

後記

富山小学校の児童が地域の歴史や生活を調べに来ましたので、社報を渡して説明しました。後日発表会に使った掲示物を見せてもらいましたが、子供なりの観点がでており、興味深く拝見しました。今後も紙面を充実していきたいと思えますが、皆様の投稿もお願いする次第です。